

介護福祉士 実務者研修科



4月コース訓練生募集!!

栃木県では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

訓練日程

令和8年 4月6日（月）～
令和8年 10月5日（月）6か月間
訓練時間 9時30分～15時10分(昼休み50分)
8時間授業日 9時30分～16時50分(昼休み50分)
休日 土日祝日及び校長が定める日
お盆休み 8月13日(木)～8月14日(金)

選考日

令和8年3月16日（月）
9時30分集合
受付：9時30分～9時40分
開始：9時45分

選考会場

栃木県立県央産業技術専門校
本館3階 視聴覚教室

宇都宮市平出工業団地48-4
(お車でお越しの方は、本校東側入口から入場し、グランドに駐車してください。)

選考方法

適性試験、面接試験

※適性試験は50問、30分

筆記用具、雇用保険受給資格者証（雇用保険受給者）をお持ちください。

訓練実施施設

栃木介護福祉士専門学校

宇都宮市鶴田町1432-1

※無料駐車場があります。

募集定員

15名（ただし、応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。）

栃木県立県央産業技術専門校募集案内
訓練番号 5-08-09-133-05-0063

お申込みはお近くのハローワークへ！
※申込みには、ハローワークでの複数回の職業相談が必要です。



■ 訓練内容

【カリキュラム】 別紙、訓練カリキュラム参照

【受講料】 無料

【自己負担額】 講習テキスト代（約15,000円）、訓練生総合保険料（4,900円+振込手数料）

■ 申込み方法

【受講対象者】 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示を受けられる方

【応募書類】 指定の入校願書及び履歴書

【申込み先】 住所を管轄するハローワーク

※申込みには、ハローワークでの複数回の職業相談が必要です。

※受講申込み後、辞退する場合は県央産業技術専門校、管轄ハローワークへ電話連絡をお願いします。

■ 選考

【日時】 令和8(2026)年3月16日(月) 9時30分集合

受付：9時30分～9時40分 開始：9時45分

【場所】 栃木県立県央産業技術専門校 本館3階 視聴覚教室

宇都宮市平出工業団地48-4(お車でお越しの方は、本校グランドに駐車してください。)

電話 028-689-6380

【持ち物等】 筆記用具、雇用保険受給資格者証（雇用保険受給者）

換気のため、窓を開放して試験を実施します。温度調節のできる服装でお越しください。

【選考方法】 適性試験・面接試験の結果による。

【選考結果】 令和8(2026)年3月23日(月) 合否を郵送で通知します。

■ 栃木県立県央産業技術専門校地図



【交通アクセス】 LRT
JR宇都宮駅東口発 芳賀町工業団地方面行
「陽東3丁目」下車 徒歩約10分



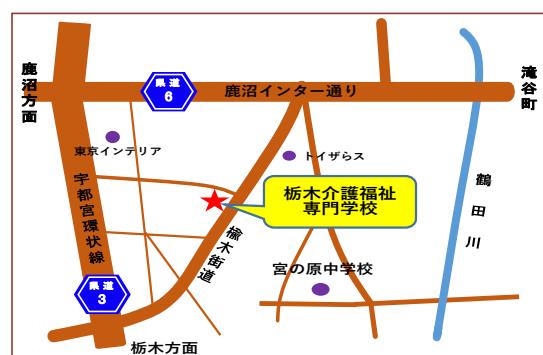
■ 訓練実施施設

栃木介護福祉士専門学校

宇都宮市鶴田町1432-1

電話 028-612-7062

※無料駐車場があります。



訓練カリキュラム

訓練科名	介護福祉士実務者研修科 (4月コース)	訓練対象者	介護関連職に就職を希望する方
訓練期間	令和8(2026)年4月6日～令和8(2026)年10月5日 (6か月)	訓練修了に 想定される 就職先	高齢者・障害者関連事業
訓練目標	<ul style="list-style-type: none"> 「尊厳の保持」「自立支援」「安全と安心」のケアを実践できる 介護福祉士実務者研修修了資格を取得する 		
訓練科目	科目	科目の内容	
	オリエンテーション	オリエンテーション	
	就職支援	介護現場への就職活動の進め方 面接指導	
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と支援 自立自律の支援 人権と尊厳	
	社会の理解Ⅰ	介護保険創設の背景と目的、基礎的理解 専門職の役割	
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉 社会保障制度 障害者自立支援制度 介護実践にかかわる諸制度	
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度 尊厳の保持 自立に向けた介護の考え方と展開 介護福祉士の倫理	
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人への介護実践 介護実践における連携 安全の確保 とリスクマネジメント 介護福祉士の安全 安全に介護するための機器 (パワーアシストによる移乗 見守りシステム) 地域での多職種連携 (GW)	
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、コミュニケーション技術 利用者・家族とのコミュニケーション 介護チームにおけるコミュニケーション 観察 (GW) 傾聴と観察 (GW) 信頼関係を築くために (GW) 介護現場でのコミュニケーションロボットの導入	
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的、展開 介護過程とチームアプローチ 科学的介護 介護情報システムの活用方法とその効果	
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の進め方 介護過程の実践的展開 施設で暮らす高 齢者の介護過程 在宅で暮らす高齢者の介護過程	
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心と身体の変化と日常生活への影響 老化が及ぼす心身の影響について (GW)	
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達 老年期の発達・成熟と心理 高齢者に多くみられる症状と疾病等	
	認知症の理解Ⅰ	認知症の基礎的理解	
	認知症の理解Ⅱ	認知症の医学的理解と支援の実際 認知症の心情 (GW)	
	障害の理解Ⅰ	障害の基礎的理解	
	障害の理解Ⅱ	障害の医学的理解と支援の実際	
	こころとからだ のしくみⅠ	移動・移乗 食事 入浴・清潔 排泄 着脱・整容・口腔清潔 睡眠等それぞ れに関連するからだのしくみ 事例から移動のしくみを考える (GW)	
	こころとからだ のしくみⅡ	人間の心理 人体の構造と機能 心の理解自己・他者を知るグループダイナミクス (GW) 移動・移乗 食事 入浴・清潔 排泄 着脱・整容・口腔清潔 睡眠における 観察のポイント 終末期における観察のポイント	
	医療的ケア	医療的ケア 安全な療養生活 清潔保持と感染予防 健康状態の把握 喀痰吸 痰吸引 経管栄養	
	介護総合演習	実習に関する事前・事後指導 実習先やご利用者の個人情報の取り扱い、写 い、写真動画のSNS投稿について 実習後 (GW)	
実技内容	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF 居住環境と福祉用具の活用 移動・移乗 食事 入浴・清潔 排泄 着脱・整容・口腔清潔 の介護技術の基本	
	生活支援技術Ⅱ	移動・移乗 食事 入浴・清潔 排泄 着脱・整容・口腔清潔 睡眠 終末期の介護 各支援に関する (GW)	
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際 生活支援技術の評価	
	医療的ケア演習	喀痰吸引 経管栄養 救急蘇生の演習	
	介護実習	高齢者施設2カ所の見学実習 インカム、センサー、眠りスキャンの見学	
訓練時間総合計		650時間	(学科 490時間 実技 160時間)
目標資格	介護福祉士実務者研修修了		

※GW=グループワーク